

令和8年度 第1回豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会 議事録

日時:令和8年7月1日(水)午後2時～3時30分

場所:豊明市保健センター 3階 講義室

【次第】

1. あいさつ
2. 委員長・副委員長の選任等
3. 議題
 - (1) 計画の概要等について
 - (2) 第4次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について
 - (3) 第7期豊明市障害福祉計画及び第3期豊明市障害児福祉計画の進捗状況について
 - (4) アンケート調査について
4. その他

【出席委員(敬称略)】

(委員長)柏倉 秀克、(副委員長)小野寺 良夫

河村 直輝、尾崎 芳美、平野 雅紀、早川 瞬、涌田 裕一、寺田 正樹、松森 正起、服部 裕、笠原 尚志、
梅村 喜美

<計12名>

【欠席委員(敬称略)】

矢野 守、森井 曜子、服部 正也

<計 3名>

【事務局】

(健康福祉部長)塚本 由佳

(地域福祉課)若井 雅宏、長谷川 聡、汲田 友佑

(子育て支援課)松村 清子

(障がい者基幹相談支援センターフィット)伊藤 幸英

【オブザーバー(敬称略)】

(株式会社サーベイリサーチセンター)田口 直美

【傍聴】

1名

【議事】

事務局:本日は、ご多忙のところ定刻にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会を務めます、地域福祉課の若井です。それでは、令和8年度第1回豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会を始めます。まず、資料の確認をさせていただきます。委員の皆様方には、事前に次第、資料1、資料2、資料3、資料4、資料5-1、5-2と現行の計画を各1部お送りしております。また、本日、机上配布しました資料としましては、委嘱状と席次表がございます。

それでは、はじめに塚本健康福祉部長よりあいさつ申し上げます。

健康福祉部長:みなさま、改めましてこんにちは。豊明市役所健康福祉部の塚本です。日頃は豊明市の福祉行政にご協力とご支援を賜りましてありがとうございます。この場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げます。重ねまして今回は委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。新しい方も引き続き引き受けていただいている方もいらっしゃるかと思いますが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日の議題は次第にございますとおり、第4次豊明市障害者福祉計画が中間年度を迎え、あわせまして第7期障害者福祉計画、第3期障害児福祉計画が改定を迎えますので、皆様に忌憚ないご意見をいただきまして、よりよいものにしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局:ありがとうございました。次に、委員の委嘱についてご報告申し上げます。今年度委員の改選が行われております。委員の皆様方には本来委嘱状をお一人ずつお渡しすべきところですが、時間の都合上、それぞれのお席に配布いたしました。ご了承ください。それでは、議事に入ります前に、委員改選後初めての会議となりますので、委員の皆様には簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員自己紹介)

続いて事務局職員を紹介します。

(事務局自己紹介)

また、本日は手話通訳者の池田様、伊東様、さらに今年度は計画を見直し、策定する予定ですので、その支援を委託しました株式会社サーベイリサーチセンターの田口様が議事録作成等の目的で同席しております。以上、本日の会議は、委員15名中12名のご出席をいただき、過半数を満たしていますので、会議は成立となります。それでは続いて、委員長と副委員長の選任に移ります。資料1、本委員会の運営規則第5条の規定に基づき、委員の互選により選任したいと思いますが、どなたか推薦などありますでしょうか。

(柏倉委員を推薦する声あり)

ただいま、柏倉委員をご推薦いただきましたので、柏倉委員に委員長をお願いすることとしてよろしいでしょうか。ご承認いただける委員のみなさまは、拍手をお願いします。

(一同拍手あり)

ありがとうございます。それでは、柏倉委員、よろしくお願いします。続きまして、副委員長についてはいかがでしょうか。

(小野寺委員を推薦する声あり)

ただいま、小野寺委員をご推薦いただきましたので、小野寺委員に副委員長をお願いすることとしてよろしいでしょうか。ご承認いただける委員のみなさまは、拍手をお願いします。

(一同拍手あり)

ありがとうございます。それでは、柏倉委員、小野寺委員、よろしくお願いします。それぞれ、委員長席、副委員長席へご移動をお願いします。

ここで、「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、会議は公開となりますが、本日は1名の方から傍聴の申し出がありましたので、入室を許可してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。それでは、傍聴者に入室いただきます。

(傍聴者1名入室)

以降の議事進行につきましては、運営規則第6条により委員長をお願いいたします。

委員長: それでは、議題1、「計画の概要等」について、事務局から説明願います。

《事務局より資料2について説明。説明内容は省略。》

委員長: ただいま事務局から説明がありました内容について、ご意見ご質問のある方は挙手願います。

(意見・質問なし)

委員長: 意見等なければ、次の議題に移ります。議題2、「第4次豊明市障害者福祉計画の進捗状況」について、事務局から説明願います。

《事務局より資料3について説明。説明内容は省略。》

委員長: ただいま事務局から説明がありました内容について、ご意見ご質問のある方は挙手願います。

委員: 4ページ「障がい福祉サービス等の充実」の「居住系サービスの利用支援」について、内容に「施設への入所が必要な障がいのある人が円滑に施設を利用できるよう支援を行う」「グループホームの需要が増加することが見込まれる」とありますが、国の基本方針では施設入所者を減らすという目標になっています。施設入所が必要な方が円滑に施設利用できるように支援を行うというのは引き続き継続していただきたいですが、国の目標との矛盾を感じています。また、地域移行で施設入所者が削減していくのであれば望ましいことだと思いますが、その取組として具体的に何をやっているかが見えない。豊明市として、施設入所者に地域移行を積極的にアピールしていくなどの具体的な取組を書くのもありじゃないかと思っていますので、内容のところに実際に関係する方々が動けるような文言を加えていただけるとありがたいと思います。

委員長: 国も地域移行をずっと謳ってきているんですけれども、最近それが弱まってきているという指摘もありますね。方向性がよく見えないので、まず地域移行というのが大きな課題であって、それを充実させるためにグループホームを整備するという視点での書き方を検討していただくことと、この評価がAになっていますがそういう視点での評価になっているのか。評価のAとBの基準もよくわからないので、ぜひご説明いただきたいと思います。

事務局: そこは市としても課題だと思っているところで、なかなか計画に具体的な行動の内容を書くことができていないのが現状ですが、自立支援協議会の中に専門部会がありまして、その中で地域移行プロジェクトチームというものを立ち上げております。具体的な内容としては、地域移行への意向がある方にグループホームを紹介する繋ぎとして、プロジェクトチームで議論をしてそこに参加

している関係機関との情報共有、事例検討などを進めています。評価については、Aが「計画どおり進行中」、Bが「概ね計画どおりだが、一部未実施」ということで、未実施の箇所があればBと評価をしています。例えば「居住系サービスの利用支援」では、グループホームや施設支援、施設入所支援で利用者様が利用できる体制が整っており、実際に利用者数も増えていますので、そういった評価をしています。

委員：11ページ「就労支援の充実」の就労選択支援がA評価になっていますが、もし具体的な成果があるならば、口頭でいいので教えてほしいです。

事務局：具体的な成果ですが、基幹相談支援センターと連携して就労選択支援の体制整備の構築を検討したというところで、就労支援部会を立ち上げて就労選択支援事業に特化した議論をする場を何度か設け、豊明市内では2事業者が愛知県の指定を受けて令和7年から事業をスタートしております。就労継続支援B型事業所を利用するにあたって、新規希望者については就労選択支援事業のアセスメントを受けて、その方にとってどういった就労が合っているかを検討した上で進めていきます。主に特別支援学校に通っている方が対象になっているので、令和7年度には事業の周知を特別支援学校を通じて行い、豊明市の特別支援学校で数名この事業を希望していますので、これから夏休みに向けてアセスメントを受けていくということで現状進んでおります。そういったところもあり、計画どおり進行しているという評価をしています。

委員長：担当課等評価について、実績を数値化するのなら人数や割合のほうがわかりやすいと思います。AとBの線引きが不明瞭で、かえってわかりにくい印象をうけました。今後検討いただけたらと思います。

委員長：その他意見等なければ、次の議題に移ります。議題3、「第7期豊明市障害福祉計画及び第3期豊明市障害児福祉計画の進捗状況」について、説明願います。

《事務局より資料4について説明。説明内容は省略。》

委員長：ただいま事務局から説明がありました内容について、ご意見ご質問のある方は挙手願います。

委員：2ページの(3)成果目標と実績に「強度行動障害を有する者への支援体制の整備」とありますが、これからの見通しとして何か具体的なものがあれば教えていただきたいです。

事務局：昨年度までは強度行動障害の支援体制の整備が実施できておらず、障害者地域自立支援協議会のプロジェクトチームの中でもこの件については幾度となく話をしておりまして、今年度1月に強度行動障害のコーディネーターの方の基礎的な研修会を企画する予定で現在動いているところです。豊明市の中でも強度行動障害の方がたくさんいるんですが、そういった方の対応が職員の中でまだできていない現状もあるので、学べていなかったところを根本から見直していきたいということで、研修会を皮切りに次年度以降も計画的に取り組んでいきたいと考えております。

委員：私の団体は強度行動障害の方が何人かいらっしやいまして、日中一時活動などの受け入れを断られるケースもかなり多くあるので、ぜひご協力いただけるとありがたいと思います。

委員長：事業所によって強度行動障害の対応が進んでいるところがありますよね。居住地域を超えて支援を受けるケースも多いと思いますが、豊明市はどういう実態ですか。市内にどれぐらいいて、今入っている施設で対応できているのか、その辺りはどういう状況ですか。

事務局：強度行動障害を考えるにあたって行動点数に落とし込んだときに10点のラインを超えている方

は10から20人ぐらいいらっしゃいます。強度行動障害の受け入れの事業所については、受け入れが難しいということで問題になっているので、強度行動障害の理解と研修への参加を進めていけたらと思っています。県の研修は事業所の方の配置の関係上出席できない場合もあるので、市内で学べる機会を設けたいと考えています。

委員：ホームヘルプの現状として、移動支援は単価が低いこともあり、移動支援を廃止して居宅支援を中心にしていくところが多いですが、市で移動支援を拡充する計画はありますか。

事務局：報酬改定が現状追いついていない部分があり課題だと感じているので、移動支援についても改定を考えていけたらと思っています。

委員長：その他意見等なければ、次の議題に移ります。議題4、「アンケート調査」について、説明願います。

《事務局より資料5-1、5-2について説明。説明内容は省略。》

委員長：ただいま事務局から説明がありました内容について、ご意見ご質問のある方は挙手願います。

委員：アンケート調査は無作為で1,000人を抽出するということですが、年々障害者手帳の所持者が増加傾向にあることや障害自体が多様化してきていることから、1,000人のままでいいのか。アンケート結果をもとにいろんな検討がされていく中で、少しでも多くの意見が拾えると具体的に動けるかと思うのですが。

事務局：前回アンケートでも同じく1000人を無作為抽出して、回収率は45.5%になっています。手帳所持者数が年々増えているのは間違いないので、今後加味して増やしていくという考えもあると思っています。ただ令和8年度のアンケート調査にあたっては、予算の関係もあり1,000人を無作為抽出するということで業務委託しているので、数を今から増やすのは難しいのが現状です。あとはアンケート調査以外にも自立支援協議会の専門部会等も含めて様々な団体から日々聞いているご意見も計画等に反映させていきたいと考えています。また、今年度の本委員会は聴覚障害者団体からもご出席いただいておりますので、この委員会の中でのご意見も大事にしていきたいと思っています。

委員長：障害種別によって人数が違うので、例えば視覚障害や聴覚障害などの少数障害は声が漏れやすいですね。数の多い知的障害や身体障害が多くを占めて、それが全体の結果になってしまうと、少数障害の人たちの声が反映されにくくなってしまいます。視覚障害者協会や聴覚障害者協会などの団体ヒアリングもやったほうがいい。障害種別の人数に配慮したアンケートをやっているんでしょうか。

事務局：それぞれの手帳の所持者数の割合で1,000人を按分して調査対象者を抽出できればと考えています。

委員：調査票13ページの問29「平日の日中を主にどのように過ごしていますか」の選択肢に「特別支援学校(小中高等部)に通っている」とありますが、特別支援学校には幼稚部もあるので、幼稚部も入れていただきたいです。

委員長：関連して、11が「幼稚園、保育所、障害児通園施設」となっていますが、幼稚園は文科省管轄なので10の「高校、小中学校」の中に幼稚園を入れる必要があります。

事務局：そのように修正させていただきます。

委員長：小中学校の特別支援学級に通っているという選択肢を入れたほうが実態がより明確になると思

います。小中高という選択肢だと通常学級と区別がつかない。通常級と特別支援学級だとまったく状況が違うので、そういう視点でやったほうがいいと思います。

事務局：できる範囲で修正したいと思います。

委員長：その他意見等なければ、議題は以上となりますが、豊明市の障害福祉全般について何かご意見はありますか。

委員：サービスが足りない、事業所が増えてサービスの選択肢が増えたなどの意見を聞きますが、どこ
の事業所も人材不足だと思います。それは人材があちこちに点在しているからなのではと思うところ
があって、事業所が増えることによって人材も分散してしまうし、本当に必要な職員数が確保
できているのか。事業所の選択肢が増えるのはいいことだと思うので、その質を担保できるよう
行政からも必要な指導はお願いしたいですし、その事業所で定着できるよう支援していただけた
らと思います。

委員長：貴重なご意見、ありがとうございました。進行を事務局にお返ししたいと思います。

事務局：ありがとうございました。それでは、「その他」について、連絡事項が2点あります。まず1点目は、
次回の会議日程についてです。今後の策定スケジュールについては、資料2でもお示したとおり、
年度内にあと3回の委員会を開催予定です。次回、第2回は10月1日(木)14時から市役所新館1
階会議室4で、第3回は12月14日(月)14時から市役所新館1階会議室4で、第4回は令和9年3
月1日(月)14時から保健センター3階講義室で開催する予定ですので、ご予定のほどよろしくお
願いいたします。あらためてご案内いたします。2点目は本日の議事録の公開についてです。議事
録につきましては、後日委員の皆様にご確認いただいた後、市のホームページに公開いたします
のでよろしくお願いいたします。以上で、第1回障害福祉計画等策定・推進委員会を終了します。貴重
なご意見、誠にありがとうございました。